宇都宮MICEネットワーク
第3回定例会

令和6年7月10日（水）
＠栃木県総合文化センター

一般社団法人宇都宮観光コンベンション協会
宇都宮市魅力創造部観光MICE推進課

【次第】

01 【報告１】
令和５年度のＭＩＣＥ関連情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

02 【報告２】
各団体における主な取組の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

03 【報告３】
今後のネットワークの取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

04 【意見交換】
「これまでのＭＩＣＥ／これからのＭＩＣＥ」・・・・・・・・・２３

◇ 定例会終了後、１７：００から「懇親会」開催
場所：「ＬＯＣＡＮＴＡ（ラカンタ）」（ギャラリー棟２階）

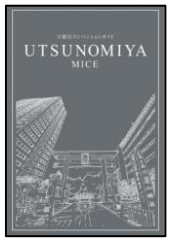
【報告１】 令和５年度のＭＩＣＥ関連情報

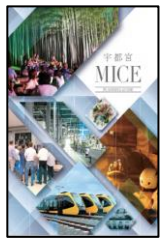
⑴ 観光コンベンション協会による誘致･受入に係る主な取組

【 誘致 】

ア ＭＩＣＥ誘致セールス

⇒ 学会や団体、大学教授等に対して、ガイドブックを活用し、３２６件のセールスを実施





３２６ 件／年間

うち首都圏等　257件
うち栃木県内　 69件

イ 商談会･学術大会への出展

⇒ 都内の催事主催者や旅行会社･ＰＣＯに向けた商談会等に出展し、キーパーソンにアプローチ

地方都市合同ワークショップ
（年３回）

学術大会へ出展
（年２回程度）

【 受入 】

ウ 開催支援補助金の交付

⇒ ９件の医学系学会を含む計２０件の団体に対して補助金を交付し、開催を支援

	令和４年度	令和５年度
交付数	１３件	２０件
交付金額	8,098千円	18,168千円

エ 開催運営サポート等の実施

⇒ 主催者の要望に合わせて、懇親会のアトラクションを手配するなど、各種サポートを実施

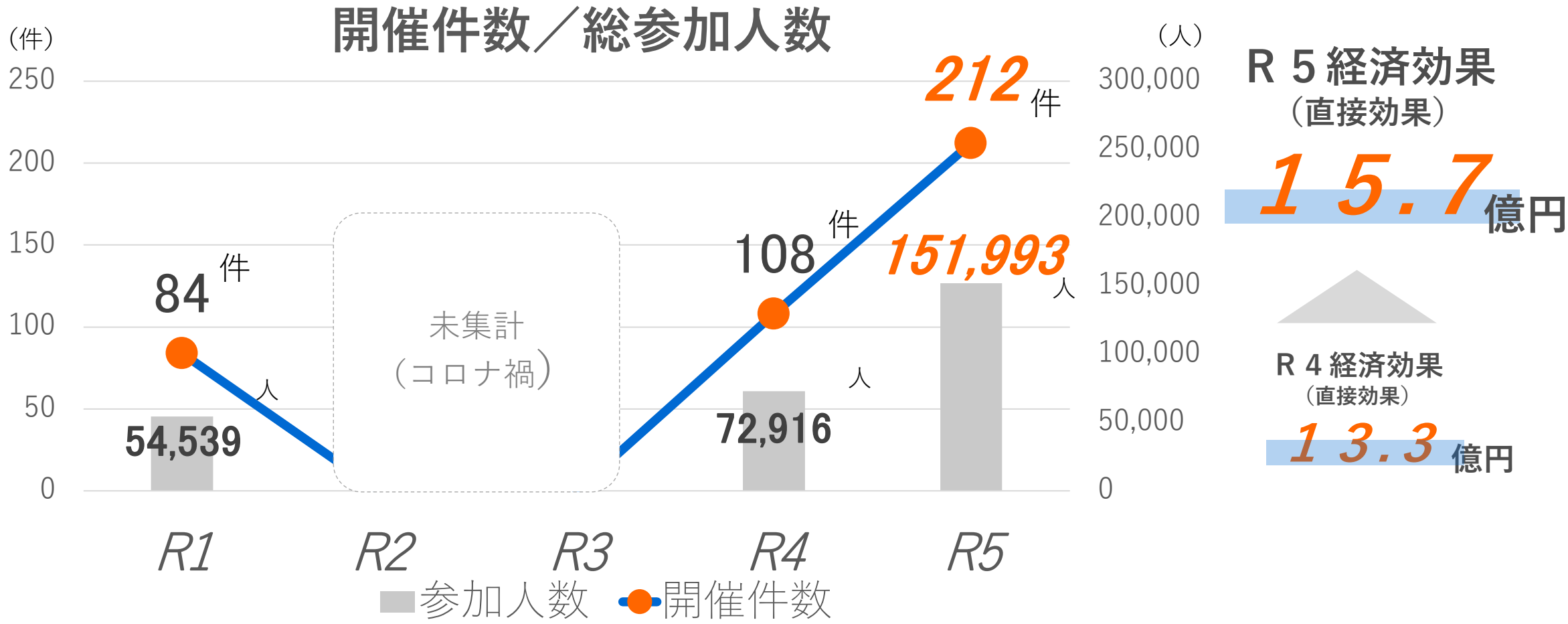
土産コーナーの設置

ダンスチアの手配

【報告１】 令和５年度のＭＩＣＥ関連情報

⑵ ＭＩＣＥ開催実績

⇒ 開催件数は想定を上回る伸びをみせ、総参加人数は年間延べ１５万人、経済効果も１５億円以上を記録

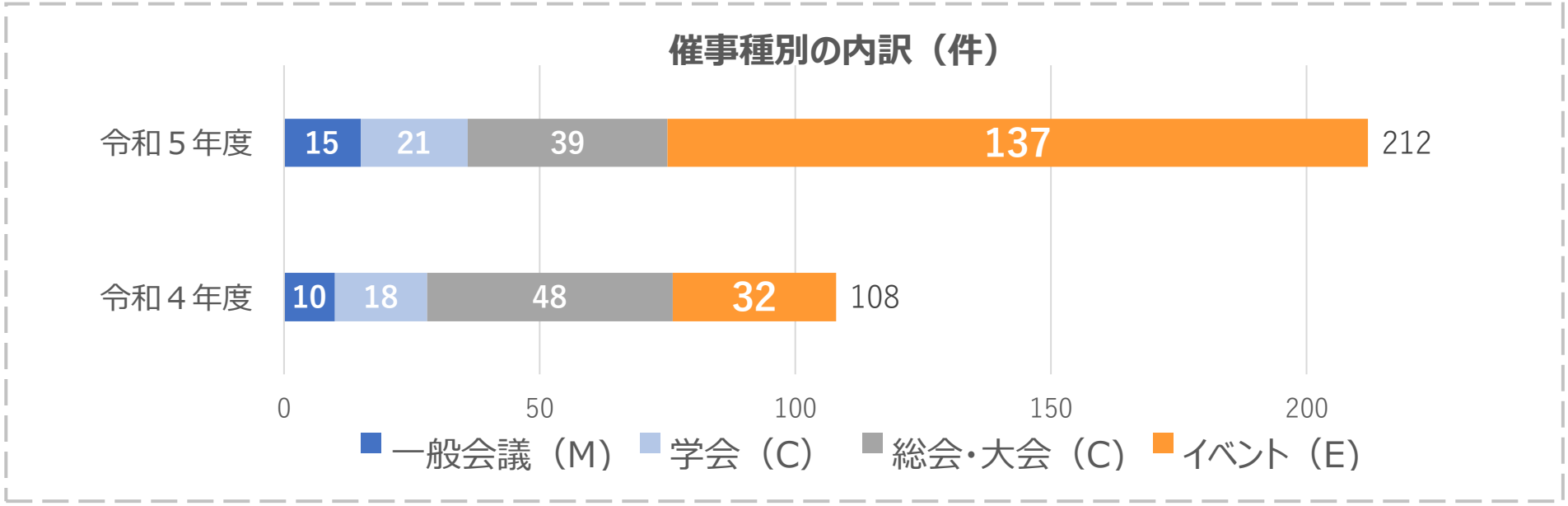


＊市内ＭＩＣＥ施設の利用件数のうち，「学会」「総会・大会」「展示・商談会」「一般会議等（３００名以上の会議・セミナー等）」に分類される催事より算出

【報告１】 令和５年度のＭＩＣＥ関連情報

⑶ 催事種別の内訳

・ 令和５年度においては，昨年度と比較し，企画から開催までの期間が比較的短い**展示会や商談会などのイベント（E）の開催が増加**したため，MICE開催件数が大きく増加した。
・ しかし，**イベント（Ｅ）は宿泊を伴う長期期間での開催が少ない**ため，全体件数の伸びに対して，**経済波及効果の伸びが少なかった**。
（※ R5 宿泊者消費単価 35,222円 日帰り消費単価 4,565円 → **宿泊者の単価は日帰りの7.72倍**）
・ 宿泊を伴いやすい学会（Ｃ）や総会・大会（Ｃ）については，誘致から開催までの期間が比較的長いため，これまでの誘致活動は，数年後に成果が出てくると見込んでいる。
⇒ 今後も、消費単価が高いとされる**国際会議など、経済波及効果が高い学会や総会・大会の獲得**に向けて積極的に取組んでいく。



【報告２】 各団体における主な取組の紹介（誘致面）

① 団体内アンケート調査の実施
（学術大学･商工会議所）

⇒昨年実施した調査により、７件の開催予定情報と２件の開催検討情報を取得。うち２名がキーパーソン招聘事業に参加

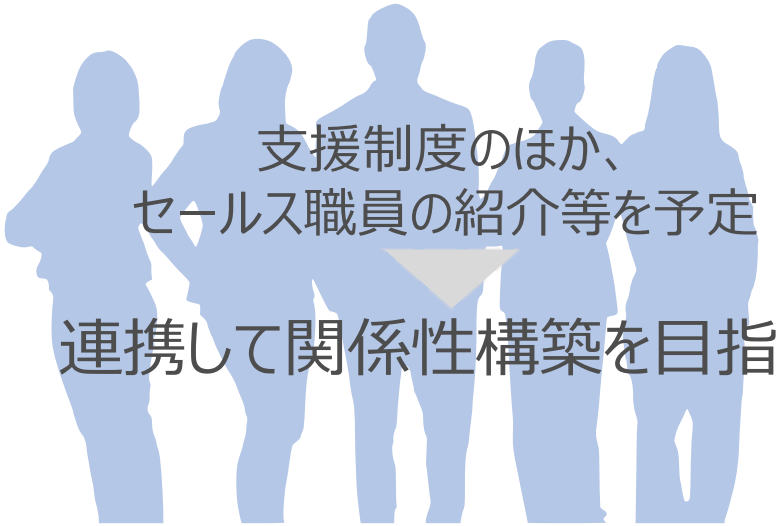
■大学（教授など）向けアンケート調査
回答人数　49名
所属学会数　122学会
役職持ち　27学会
開催予定　7件
開催検討中　2件

９件には支援制度案内済
今後もアプローチを実施

■団体・企業等向けアンケート調査
回答団体　14団体
所属団体　28団体
役職持ち　22団体
大会等を開催している　**25団体**

② 学内ツールを活用した情報発信
（宇都宮大学）

⇒教授との関係構築を目指し、教職員向け学内ポータルサイトでの、定期的な情報発信を開始検討中



⇒ 教授等のキーパーソンとの関係構築を目指し、団体内の情報発信･情報の吸上げを実施

【報告２】 各団体における主な取組の紹介（誘致面）

③ 施設HPでの協会支援の掲載
（全ＭＩＣＥ施設）

⇒昨年度実施の２施設に加え、２施設（総文センター・マロニエプラザ）も、HP内で支援制度を掲載開始

2024.02.10

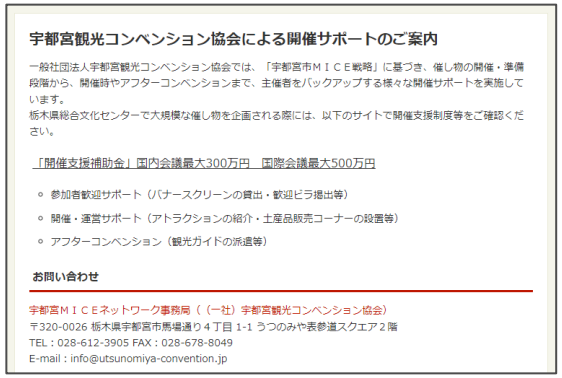
宇都宮観光コンベンション協会による開催サポートのご案内

一般社団法人宇都宮観光コンベンション協会では、「宇都宮市MICE戦略」に基づき、催し物の開催・準備段階から、開催時やアフターコンベンションまで、主催者をバックアップする様々な開催サポートを実施しています。
マロニエプラザで大規模な催し物を企画される際には、以下のサイトで開催支援制度等をご確認ください。

(一社)宇都宮観光コンベンション協会　https://utsunomiya-convention.jp/support/

← お知らせ一覧へ

▼マロニエプラザ


宇都宮観光コンベンション協会による開催サポートのご案内

一般社団法人宇都宮観光コンベンション協会では、「宇都宮市ＭＩＣＥ戦略」に基づき、催し物の開催・準備段階から、開催時やアフターコンベンションまで、主催者をバックアップする様々な開催サポートを実施しています。
栃木県総合文化センターで大規模な催し物を企画される際には、以下のサイトで開催支援制度等をご確認ください。

「開催支援補助金」国内会議最大300万円　国際会議最大500万円

- 参加者歓迎サポート（バナースクリーンの貸出・歓迎ビラ掲出等）
- 開催・運営サポート（アトラクションの紹介・土産品販売コーナーの設置等）
- アフターコンベンション（観光ガイドの派遣等）

お問い合わせ

宇都宮ＭＩＣＥネットワーク事務局（（一社）宇都宮観光コンベンション協会）
〒320-0026 栃木県宇都宮市馬場通り４丁目 1-1 うつのみや表参道スクエア２階
TEL：028-612-3905 FAX：028-678-8049
E-mail：info@utsunomiya-convention.jp

▼県総文センター

④ 商談会で同行セールスの実施
（ライトキューブ宇都宮）

⇒施設の予約状況の確認など、柔軟に対応するため、協会が参加する商談会にライトキューブ宇都宮も同行

（画像）Ｒ６.2開催
「国際ＭＩＣＥエキスポ（IME）」
➡後日、予約連絡あり！

⇒ **開催を検討する方への支援制度の周知･セールス同行など、誘致面で連携した取組を実施**

【報告２】 各団体における主な取組の紹介（受入面）

⑤ MICE向け企業視察プランの造成
（宇都宮ライトレール）

⇒ＭＩＣＥ参加者向けに、普段は入れないライトラインの検修庫等が見学できる企業視察プランを造成

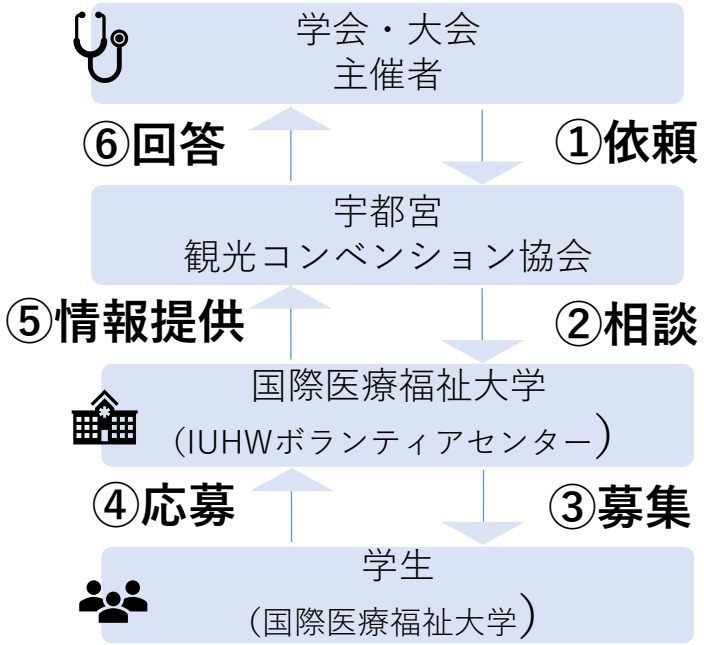
プランのタイムスケジュール例

10:00	JR宇都宮駅発
10:20	LRT車両基地内（下平出町） 到着
	［行程］
	・オリエンテーション
	（LRT導入経緯などの説明会 約30分）
	・車両見学、検修庫見学
	（約30分）
11:20	出発
11:40	JR宇都宮駅着、解散

案内人付

⑥ 学生ボランティア制度の構築
（国際医療福祉大学）

⇒学会等の人手不足対策と学生の学習機会の創出をするため、「学生ボランティア制度」を構築・案内開始



⇒ **開催地としての魅力向上や、主催者等の満足度を向上させるプランを連携して構築**

【報告２】 各団体における主な取組の紹介（受入面）

⑦ ＭＩＣＥへの自施設の貸出
（作新学院大学）

⇒学内教授以外の者が主催するＭＩＣＥ会場として、自施設（ホール・会館等）を貸出

⑧ 「ＭＩＣＥ」に係る取組の紹介
（下野新聞社）

⇒第２回ＭＩＣＥセミナーの開催にあたり、開催概要や参加者募集の記事を無料掲載

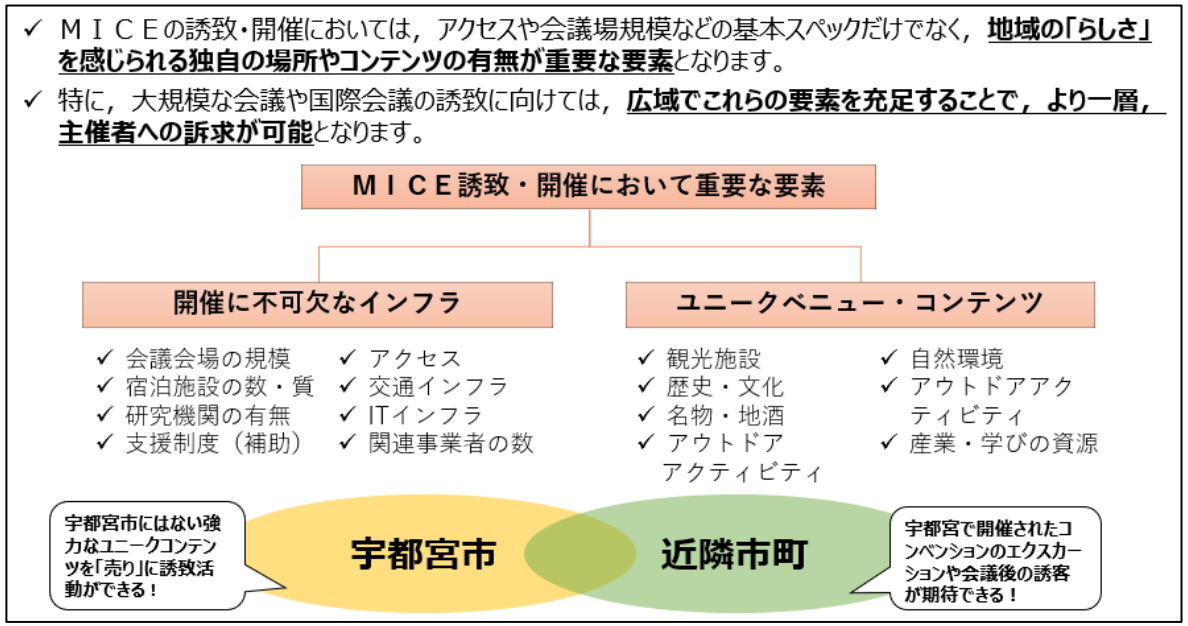
当日は、第１回を上回る７８名が参加
本セミナーに**参加した大学関係者から、学会開催検討の相談**あり、施設内覧同行など対応中。

⇒ 各団体の強み・特長を活かし、本市のMICEに関する取組をバックアップ

【報告２】 各団体における主な取組の紹介（協会関連）

⑨ ＭＩＣＥセミナーの開催
（宇都宮観光コンベンション協会）

⇒ ＭＩＣＥにおける、開催地の「地域らしさ」の重要性について認識が高まる内容のセミナーを開催



※講演資料を基に作成

⑩ キーパーソン招聘事業の実施
（宇都宮観光コンベンション協会）

⇒開催地決定権をもつ大学関係者やPCO等を本市に招き、施設や会場、観光地・名所等の視察ツアーを実施

宇都宮酒造

大谷コネクト

令和５年度は、１月・２月に実施し、３１名が参加

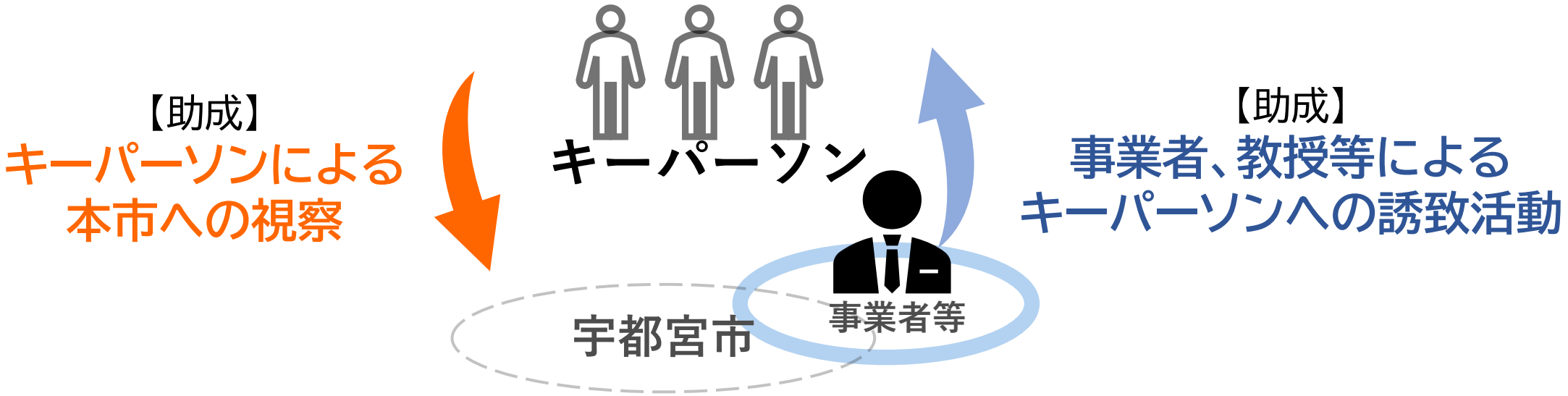
⇒実施後、**４団体の本市開催が決定**

⇒ **上記２事業は令和６年度も開催予定。開催時の周知・募集など連携協力を依頼**

【報告２】 各団体における主な取組の紹介（協会関連）

⑪ ＭＩＣＥ誘致の促進を図る補助金の創設
（宇都宮観光コンベンション協会）

⇒ より連携した本市へのMICE誘致活動が図られるよう、事業者等によるキーパーソンへの誘致活動や、キーパーソンによる本市への視察の際の一部経費を助成する補助金を創設



「コンベンション誘致促進補助金」
補助上限　：　１名あたり上限１５，０００円（税込み）／１催事３名まで
要　　件　：　開催規模が関東大会以上であるもの、会期が２日以上であるのも　等
対象経費　：　交通費、宿泊費及び見学費

⇒ 4月に視察費用を助成し、来訪した化学系学会（800名規模）の本市開催が決定

【報告３】今後のネットワークの取組

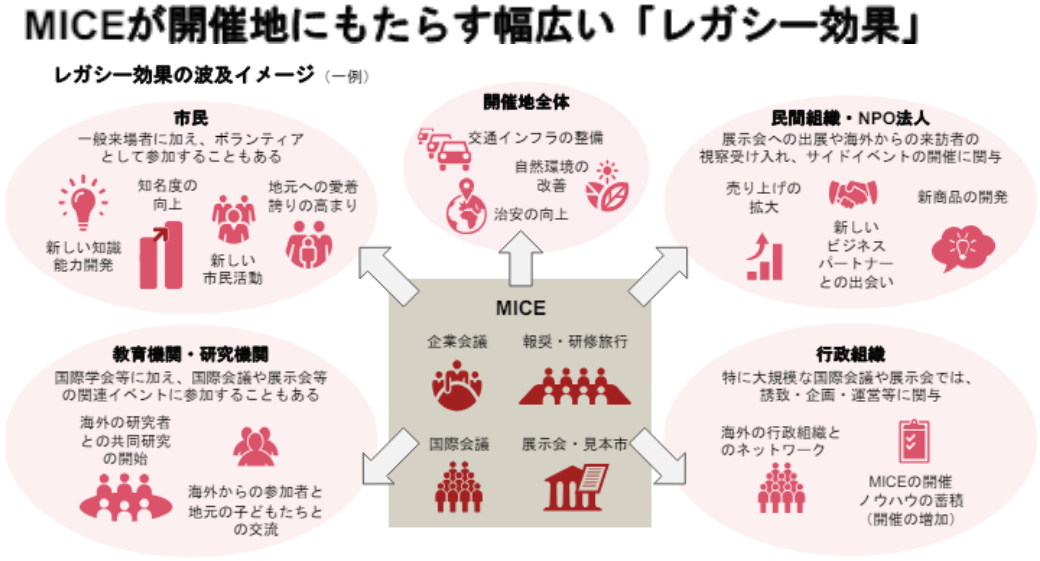
⑴ 「宇都宮ＭＩＣＥネットワーク」が目指すべき姿

◆ **設立趣旨（原文）**

・ 宇都宮市内のＭＩＣＥに関わる様々な**関係団体等と連携**を図りながら，ＭＩＣＥの推進に取り組むことで，より多くのＭＩＣＥを本市に誘致し，**交流人口の拡大**による**地域経済の活性化**を図る。

・ **関連する団体・事業者が相互に連携**し，協働した取組を推進することで，本市における**ＭＩＣＥビジネスの振興**を図る。

➡ **「設立趣旨」では、経済・ビジネスの振興を掲げているが、MICEの効果は、幅広い分野へ広がることから，「稼げる」等のメリットのみならず、関連する多くの団体が、ＭＩＣＥを通じて、様々な「メリット」が享受できる状態を目指していく。**



【参考】観光庁
ＭＩＣＥによるレガシー効果等調査事業

MICE開催は
広範囲に好影響
（メリット）をもたらす

ネットワークとして、ＭＩＣＥに関連する団体が、「評価された」「良い影響を得た」「稼げた」など、様々な「メリット」を享受できる状態を目指し活動する。

【報告３】今後のネットワークの取組

⑵ 「宇都宮MICEネットワーク」が目指すべき姿の具体化

実際にMICEネットワークの関係事業者が，ＭＩＣＥを通じて**「メリット」**が享受できる状態を目指すために，MICE誘致から開催までの間に事業者が参画できる場面を切り取って**ストーリー**を描いた。

＜作成にあたって＞
- **事業者がMICEの誘致から開催までの間に参画できる主な場面ごとにストーリーを作成**
- **ストーリーの作成にあたっては，国の資料や，先進地の事例等を踏まえて作成**

■ **ストーリー　①　「開催前・開催中・開催後」 本会議編**

■ **ストーリー　②　「開催前・開催後」　エクスカーション編**

■ **ストーリー　③　「開催中・開催後」 アフターコンベンション編**

【報告３】今後のネットワークの取組

■ ストーリー ①　「開催前・開催中・開催後」 本会議編

・「〇〇医学会」の運営を受託したＰＣＯから、**コンベンション協会**は、次のような相談を受けた。
  ■ 「市民向け講座も予定されており開催地に事前PRをしたい」
  ■ 「展示ブースに出展できる企業を紹介してほしい。」

・ そのため、コンベンション協会は、地元**メディア**に相談したところ、市民講座をＰＲする広告を掲載することになった。当日の参加者は盛況で、メディアも広告収入を得た。

・ 展示ブースには、コンベンション協会から相談を受けた**経済産業団体**が紹介した会員企業が、出展することになり、都内企業とビジネスマッチングが起きた。

・ **コンベンション協会**は、後日、ＰＣＯから、「オール宇都宮を感じた」「知り合いの教授にも宇都宮を推薦する」と評価を得た。

【報告３】今後のネットワークの取組

■ ストーリー ② 「開催前・開催後」 エクスカーション編

・「学会開催を予定しているＡ教授がいる。」という情報が、**大学（教員）**から**コンベンション協会**にあり、教授に対してセールスを実施。他都市より充実した補助金が好評で、見事、本市開催となった。

・ 開催に向け打ち合わせした**ＭＩＣＥ施設**に対し、Ａ教授は「ＳＤＧｓが学べるエクスカーション」をしたいとのことから、**旅行代理店**に相談。提案書「足尾銅山の公害問題学習・植樹活動プラン」が気に入られ、業務を受託するとともに、**ＭＩＣＥ施設**は困難な課題を対応できた。

・ ただ、主催者側でエクスカーションの「足」が確保できていないという。急ぎ、ＭＩＣＥ施設は、**バス事業者**や**タクシー事業者**に連絡。当日は、特別に配車してくれることになり売上に繋がり、エクスカーションを成功させた。

・ 後日、主催したＡ教授から、**大学（教員）**は大変感謝され、ほかに開催を検討するＢ教授を紹介され、また、**コンベンション協会**がセールスを実施することになった。

【報告３】今後のネットワークの取組

■ ストーリー ③ 「開催中・開催後」 アフターコンベンション編

・ **市内ホテル**で開催された懇親会会場には、地元食材を使用した料理や地酒が振る舞われたほか、**土産品協会**が用意した試食コーナーとパンフレットが並んだ。存分にもてなし、参加者は宇都宮の食を味わった。懇親会には地元**金融機関**も参加。県外の財界人と人的ネットワークの構築が図れた。

・ 今回の懇親会の開催は、事前に周知されており、**市内餃子店**は、営業時間を通常20時のところ、２２時まで延長。会場出口では、**観光推進委員会**で制作した周遊マップが配られ、多くの参加者が餃子のほか、カクテルなど宇都宮のナイトタイムを堪能した。

・ 参加者の宿泊先も、ＰＣＯから事前に相談を受けていた**ホテル旅館組合**が、不足分を確保しており、多くの参加者が宇都宮に滞在した。**土産品協会**のパンフレットを見た参加者は、翌日、土産品店舗に足を運んで購入した。

・ 後日、**銀行**が繋がったキーパーソンの情報が**コンベンション協会**に提供された。その方は、別の大会の理事長であり、コンベンション協会は、本市開催に向けセールスを実施した。

【報告３】今後のネットワークの取組

⑶ ストーリーを踏まえてネットワークに必要なこと

- 先述の①～③のストーリーから，大前提にそれぞれの**事業者間の連携**を行うことが不可欠
- **顔の見える関係性**や**一緒に取り組む意識を高める**ことが必要
- **相互の理解**や**信頼関係の構築**が必要
- 円滑な**情報共有できる仕組み**や**人や事業者をつなぐ場**が必要

【連携するために必要な要素①】

相互が連携する「関係づくり」

＋

【連携するために必要な要素②】

連携できる「仕組づくり」

■ **連携強化に向けての手段案**

- 定例会，懇親会の開催
- **国支援事業への参画（P.18で紹介）**
- 連携事業の実践
- **情報共有システムの導入（P.20で紹介）**
- MICE主催者（開催済）の声を聞く機会
- 相互理解に向けた勉強会等の実施
- 先進都市との意見交換等の実施
- 会員の追加（編成）
- 分科会の検討

など・・・

➡ **これらの手段案を中心に、連携強化に向け、委員と意見交換しながら進めていく。**

【報告３】今後のネットワークの取組

⑷ 連携強化に向けての手段（関係づくり）：観光庁「コンベンションビューロー支援事業」への参画

⇒ 観光庁が委託した企業（有識者）から研修会等を通して、国際ＭＩＣＥの誘致・受入において必要なノウハウや助言を得られるとともに、ワークショップ等を通してその都市の組織力の強化が図れる支援事業に参画する。

事業概要

- 国際MICE誘致を目指している地方都市を対象に、**組織力の強化を図るための支援**を行う。
- **支援対象都市のレベルと体制に応じた支援メニュー**を提供する。
- 有識者を各都市に派遣しコンサルティングを行う。
- **全５回の講習・ワークショップ**を実施

過去対象都市

2018年度：富山県、奈良県
2019年度：長崎市、姫路市
2020年度：岡山市、松山市
2021年度：鹿児島市、熊本市、高松市
2022年度：岐阜市、静岡市、新潟市
2023年度：徳島市，福井市，水戸市

取組事例

○ **MICEブランドの策定**
富山県：「 TOYAMA, JAPAN　Nature & Energy Lead to New Discovery」
姫路市：「 Himeji JAPAN. Monumental Meetings」
長崎市：「Nagasaki JAPAN. A city of legacies」

○ **ＭＩＣＥ体制の強化**
MICE関連のステークホルダーとの連携を深め、都市を挙げてMICE誘致・受入を行う体制を構築

【報告３】今後のネットワークの取組

※以下、昨年度までの実施情報のため、内容が確定次第、御案内予定です。

■ ビューロー支援事業のスケジュール　（先行都市のスケジュールを参考）

2022年9月6日
第1回研修（東京）　※事務局のみ

2022年10月17日～18日
第2回研修（宇都宮）

- SWOT分析により岐阜市の特色を表現したタグライン考案
- 誘致・開催案件のリード開発と誘致手法

2022年11月28日～29日
第3回研修（宇都宮）

- 国際会議誘致におけるローカルホストとの連携（仙台事例）
- 国際会議開催地の求められるサスティナビリティへの取組（岐阜市観光コンベンション協会の研修会として実施）

2023年2月9日～10日
第4回研修（宇都宮）

- 中堅ＭＩＣＥ都市としてのＣＢのあり方
- 地域ステークホルダーとの連携（広島・北九州事例）
- 国際会議誘致に役立つユニークベニューの役割
- ＭＩＣＥタグライン開発
- 地域観光にパーパス・ブランディングの必要性（特別講演）

2023年2月17日
第5回研修（東京）　※事務局のみ

⇒　回ごとにテーマが異なることから，テーマに関連する事業者にお声がけさせていただきます。
（MICEネットワークのほか，構成員からご推薦いただいた事業者やＭＩＣＥに関連する事業者等を交えて参加予定）　※８月中旬頃に御案内予定

【報告３】今後のネットワークの取組

プラットホーム

ネットワーク構成員
＋
ヒアリングを実施し
メンバー（事業者）の
追加を検討

⑸ 連携強化に向けての手段（仕組みづくり）：情報共有システムの導入検討

⇒ 各事業者等の連携をより高めるため、ＭＩＣＥ開催情報や、協会・事業者等が受け付けた主催者からの要望を共有するシステムの構築を検討する。

【情報１】MICE開催・検討情報

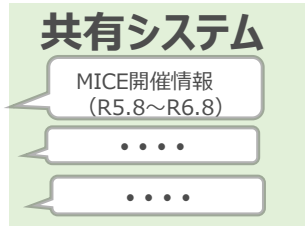
施　設

①ＭＩＣＥ情報の提供（月１回）

コンベンション協会

②情報を集約

プラットホーム



③情報を共有（月１程度）

各事業者

歓迎看板の掲示

MICE参加者
向けクーポン

タクシーの増車

④サービス等への展開

【情報２】主催者からの要望・意見・感想等

コンベンション協会

各事業者

①主催者からの要望等をヒアリング

プラットホーム

②情報を共有（都度）

各事業者

連携してバックアップ

新たな事業を生み出す

③サービス等への展開

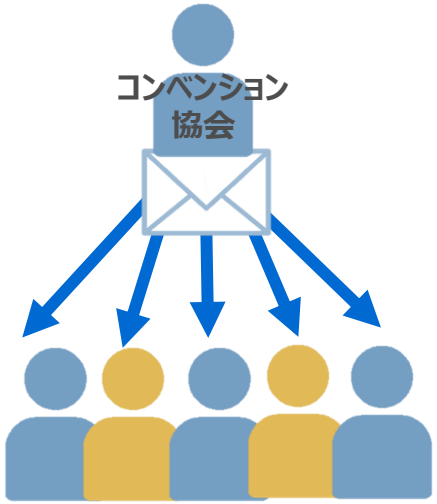
【報告３】今後のネットワークの取組

■ 情報共有システム案について

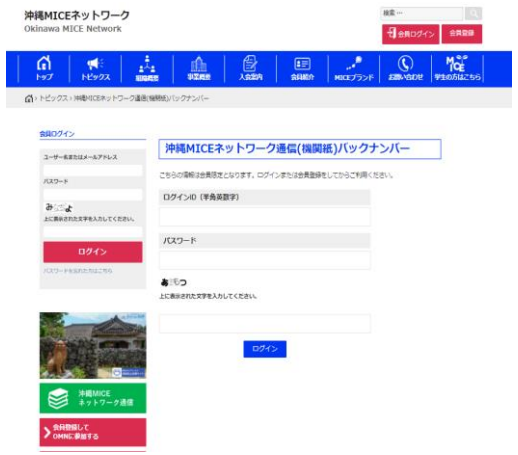
【案１】メーリングリスト＆会員専用ＨＰ

MICE（催事）情報（コンベンションカレンダー）が閲覧できる会員制のホームページを作成し，月に1回程度情報を更新する。また，ホームページ内に主催者からの要望等を書き込める掲示板などを作成し，情報の共有を都度行う。更新の都度メーリングリストを活用し，お知らせする。

メーリングリストで
更新のお知らせ



会員制の
HP作成



【案２】ビジネスチャット

各構成員にビジネスチャット（ビジネス版LINEをイメージ）をご使用いただき，ＭＩＣＥ情報（コンベンションカレンダー）や主催者からの要望等を共有する。

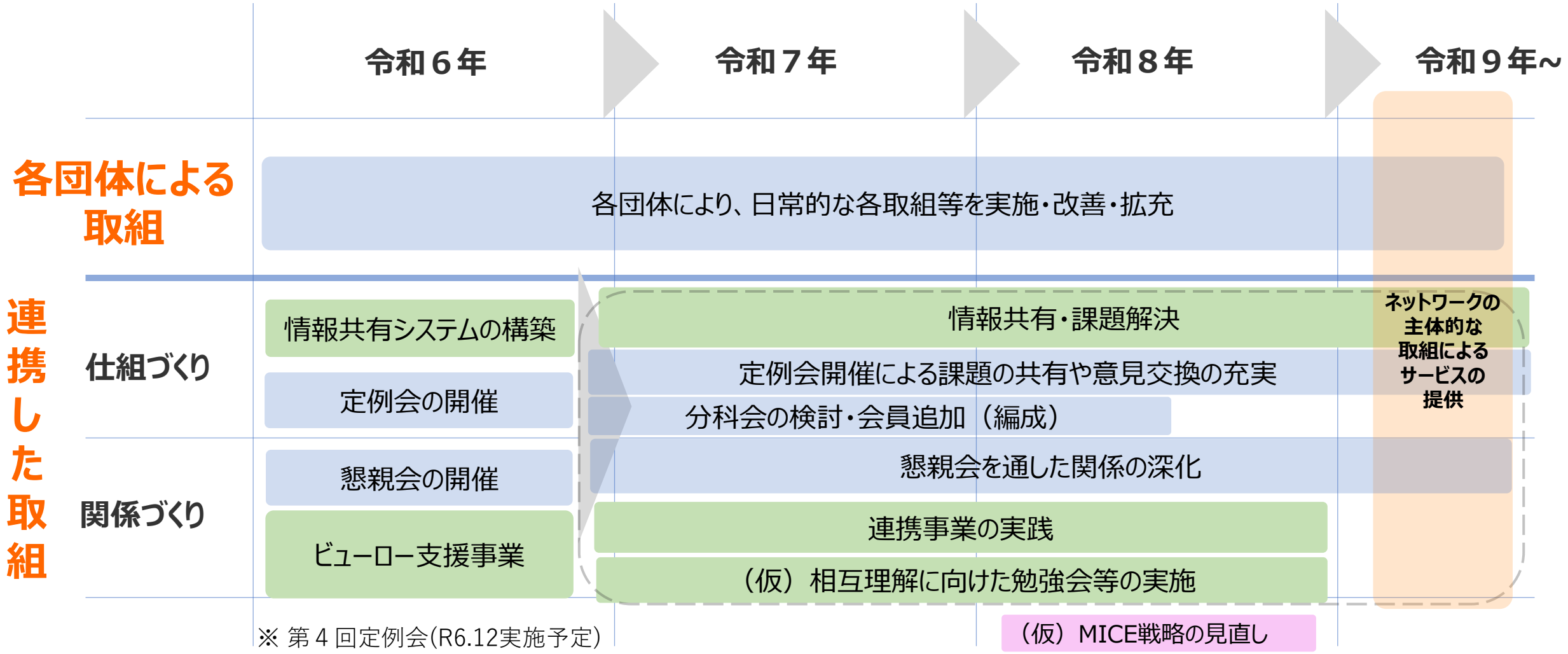
ビジネス
チャットでの共有

©LINE Corporation

⇒今後、事務局と各委員で意見交換しながら最適手法・共有メンバー等の追加調整などを検討していく。

【報告３】今後のネットワークの取組

⑹ 今後のアクションプラン



【意見交換】

■　意見交換の内容

【テーマ】　「これまでのＭＩＣＥ／これからのＭＩＣＥ」
【内　容】　ＭＩＣＥに関連する課題・必要な取組／
各業種でＭＩＣＥにやりたいこと・挑戦したいこと　など
【目　標】　ＭＩＣＥに関する取組や情報を発言し、意見や課題、将来の展望などを皆さんで共有しましょう！

■　タイムスケジュール

グループ討議：20分

代表者発表：10分